

第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：優秀賞（低学年の部）

タイトル：おまわりさんは、まほうつかい

氏名：藤野 真之（フジノ マサユキ）

小学校名：鹿児島県 鹿屋市立西原台小学校 二年

ぼくがとう校するとき、あいさつやけいれいをする、おまわりさんも同じようにかえしてくれます。

ぼくがけいれいをするようになったのは、りゆうがあります。あるあさ、なんだか気分がのらず、ゆっくり歩いていると、おうだんほどうで、おまわりさんが、

「おはよう。」

と言って、けいれいをしてくれたからです。思わず、ぼくもけいれいをしてしまいました。けいれいは、せ中もびんとのび、うでもびんとのび、体がしゃきっとします。ぼくの心の中でもやもやしていたものが、すうっとどこかへ出ていき、気持ちがすっきりするのが分かりました。それから、ぼくは、おまわりさんを見ると、けいれいをしています。

けいれいは、あいさつと同じです。ことばや形だけではなく、やさしい気持ちもやりとりしていると思います。けいれいやあいさつは、まほうのようです。たった一言で、たったすこしのうごきで、みんなをあたたくしたりすっきりと気持ちよくしたりするからです。そんなまほうがつかえるおまわりさんは、まほうつかいです。とてもかっこいいです。ぼくも、おまわりさんのように、やさしさとつよさをしっかりともらった大人になりたいです。